

在京石鳥谷町人会だより



在京石鳥谷町人会だより

発行所 在京石鳥谷町人会
埼玉県さいたま市桜区
大久保領家630-34

電話 048-855-7577

発行者 熊谷福二
編集者 広報部
責任者 飯塚悦子

会報創刊に 当ってのご挨拶



在京石鳥谷町人会
会長 熊谷福二

在京石鳥谷町人会会員の皆様には
ご健勝のことと、お慶び申し上げます。

本年度より新花巻市が誕生致し、
市長・副市長・市議会議員おめでと
う御座います。新しい体制が出来大
きな町新生はなまき岩手No.1と栄え
るようお願い申し上げます。

さて在京石鳥谷町人会、創立は昭
和六十三年、初代後藤榮氏、二代目
は難しいものと実感致し取り組んで
います。会の事務局は昨年度まで旧
石鳥谷役場内にありましたが、新生
花巻市誕生に伴い、事務的なことを
在京石鳥谷町人会が引き継いで行っ
ていきます。

今年度より役員全員担当部をもう
け、企画・総務・広報・財務・相模
原と担当グループを作り新規奮闘努
力している最中です。会則に伴い事
務所は会長宅、事務所はご案内の通り
各担当宅で行って、役員の皆さん活
発な会にしようと熱心に取り組んで

おり、又、会員皆様に戸惑いをお掛
けしていますが、会員皆様のお声を
聞きながら努力致して参ります。会
旗も昨年総会で承認を頂き、今年度
より旧石鳥谷町旗を会旗として飾る
ことが出来ました。石鳥谷の町を思
う心にて会旗を見ながら安らぎと故
郷の風景を感じて下さるようにと
願っています。

会報を創刊発行に当たり町人会だ
よりの文字を旧石鳥谷町長に書い
ていただき、大石市長とともにご挨拶
も頂戴いたしました。また協賛団
体・企業の方・各近隣の皆様方のご
協力を頂き、会員の皆様のご参加も
お願い致し、皆様のご健康でご活
躍をお祈り申し上げます。



町から譲り受けた
会旗とリントラ君



ご挨拶



花巻市長 大石満雄

本年一月一日の新花巻市誕生に伴
い、二月五日の市長選挙におきまし
て、多くの市民の皆様よりご信任を
賜り、初代市長として新しいまちづ
くりの重責を担うこととなりました。

近年、私たちを取り巻く社会情勢
は、市町村合併などで大きく変わろ
うとしており、こうした変化に相応
したまちづくりのためには、行政の
リードだけではなく市民一人ひとり
の力こそが重要であります。市民の
皆様が様々な場面で力を発揮してま

花巻市と合併して どこがどうなったの？



何も分からないことだらけ！
……で、次号で特集を組んでみ
たいと考えました。
皆さんの日頃心配している事、
不安に思っていること、等々、
どんどんお寄せください。
広報部員一同、心よりお待ちしております。

ちづくりに参画できる仕組みを構築
し、市民の力と声を地域づくりに活
かし、さらに民間の発送と手法取り
入れた柔軟な行政財政運営をしてい
かなければなりません。
私は、昨年まで旧花巻市議会議員
として合併に直接深く関わって参
りましたが、今後は市長として、市
民の皆様にお示ししたマニフェス
ト「新生はなまき岩手No.1宣言」に
沿って、旧四市町村それぞれの地域
の特色や資源を活かしながら、目標
とする「自立した市民と自立した行
政の協働で岩手No.1のまち」の実現
に向けて努力して参ります。
在京石鳥谷町人会の皆様には、新
しい花巻市勢の発展のため、ご支援
とご協力を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げますとともに、新市
の伸びゆく姿を見守っていただきた
いと存じます。
結びに、在京石鳥谷町人会の益々
のご活躍と、会員皆様のご健康、ご
多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶とい
たします。



ごあいさつ

旧石鳥谷町長

花巻副市長 高橋 公男

在京石鳥谷町人会の皆様方、いかがお過ごしです。

一月一日に新花巻市が誕生して、早七ヶ月が経ちました。旧石鳥谷町長時代には、皆様方にたいへんお世話いただき誠にありがとうございます。

私いろいろな思いを抱きながら、旧石鳥谷町の半世紀五〇年にわたる歴史を閉じました。町人会の皆様方にも感慨深い、それぞれの思いがあるだろうと思います。

旧石鳥谷町旗を在京石鳥谷町人会の旗として、今後永くご活用いただくこととなり、たいへんありがとうございます。

去年は、旧石鳥谷町合併五〇周年のいろいろな記念事業を行い、十二月二十三日には、最後の石鳥谷町閉町式を挙行し、併せて旧石鳥谷町役場前に閉町記念碑と並べて閉町記念碑を建立し、旧石鳥谷町の歴史を後世に永く伝えていくことにしました。さて、新花巻市となり、四月二十日には花巻市誕生記念式典を挙行し

ましたが、私も大石市長のもとで四月一日から副市長として勤務いたしております。旧石鳥谷町では永年の懸案でありました石鳥谷中学校の改装が、平成二十二年の完成をめざし、いよいよ今年度から着工することになりました。

「早池峰の風薫る安らぎと活力にみちたイーハトーブはなまき」をスローガンに、新しいまちづくりを進めてまいりますので、在京石鳥谷町人会の皆様方、より一層のお力添えを賜りたいと存じます。

在京石鳥谷町人会のさらなるご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます、ごあいさついたします。

相模原市民桜まつり

相模原市が一市二町が三月二十八日合併し、人口六十六万八千人、今紀初の大々的な桜まつりが、四月の一日、二日と実施され、市役所前のさくら通りを主会場に催された。

「市民手づくり」の催しの特徴で、しないの各種団体、県人会コーナー、サークル活動発表や展示の出店がずらりと並び特に市民パレード、米陸軍軍楽隊のパレードが印象的であった。また石鳥谷が花巻市となり初の出店出来ました事を大変光栄に思います。

出店の方は、三業者が出店し米や菓子、地酒、クレープ等の特産品を売り出した。業者や町、町商工担当者らに加え、支部から十人程の会員

が駆けつけ、ほぼ完売した。関係者は「人出がすごい」と驚き、岩手に関心のある方々が特産品を買ってくれたとの反響の大きさに驚いていた。特に当日は晴天に恵まれ、桜が満開とあって子ども連れが多いせいか、クレープの売上が最高かと思われました。また人では述べ四十万とも言われています。

夜には、石鳥谷関係者、会員、地域の市会議員、老人会会長等を交えての懇親会が行われ、交流を深め、時間のたつのを忘れる程の盛り上がりでした。再会を約束してお開きとなりました。

これからも役員の皆様と協力し合い、ふるさとの発展に寄与したいと思っております。会員の皆さんも是非遊びに来て下さい。役員一同お待ち申し上げます。

在京石鳥谷町人会
相模原担当 藤原 龍考



いしどりや女子チーム

応援団賞をいただく熊谷会長



綱引き合戦応援記

去る三月十九日(日)、千葉アリーナにて全国綱引大会が開催され、岩手県代表に上り詰めた吾郷土の女性チームが今年も日本一を目指して来たのである。

石鳥谷町人会有志は、優勝を願い、声が洩れるまで、腕が棒になるまで町人会旗(旧石鳥谷町章)を振りまわした。惜しいかな結果は、一勝三敗であったが、ペットボトルに小豆を入れた鳴り物を振り、

「石鳥谷ッ オーツ 石鳥谷ッ オーツ」と声を出したのである。この熱気が評されたのか、応援の部で応援団賞を戴いたのである。

選手慰労会は、これで大いに盛り上がったのです。どうか来年も来て下さい。我々は心から応援します。

監事 柳原 政義

近隣ふるさと 笑いの会に参加して

二月二十六日 朝から悪天候の中、相撲で有名な両国の池「ちゃんこ江戸」において近隣ふるさと笑いの会に参加させて頂き、楽しい一時を過ごすことが出来ました。今回の幹事担当は在京花巻人会が世話役となり、会を大いに盛り上げて頂きました。参加者五八名、八団体の皆さんが故郷の話に花を咲かせていました。



十年前に始まった近隣ふるさと会も、今では八団体となり大きく成長しました。石鳥谷・大迫・金ヶ崎・柴波・矢巾・花巻・東和・北上と各役員との親睦交流が出来た事は素晴らしい機会でした。ふるさと会の会場で後藤菜顧問より、この会が発足した経緯の説明がありました。石鳥谷と大迫が県人会の帰りに、近隣ふるさと会をやるようになったのが始まりだったとの事。今回は石鳥谷町人会は九名の参加でしたが、次回はもう少し多く参加出来れば盛り上がりが増えるかも。

一杯飲んで故郷の話、仕事の話、家族の話が出来た事は楽しいものです。ぜひ次回も参加させて頂きます。次回の幹事担当は大迫町人会なそうですが、役人の皆さん声を掛けあって参加しましょう。

広報担当 後藤 勝夫



東京下町散策

三月五日、第五回目の下町散策を八幡会、新堀会、城北支部の合同にて行いました。天気は上々で梅の花は五部咲きの好条件の中でスタート。

まずは学問の神様湯島天神、折からシーズンで大勢の参拝客で迷子になりそう。湯島天神は小説の舞台にもなり、湯島の白梅の歌でも有名です。

次は歩いて十分の神田明神。神田明神は江戸三大祭りの一つで壮大な神輿が出ます。そしてご存知、銭形平次、紫波町出身の野村胡堂の作品です。映画やテレビなどでおなじみですね。その次はお隣五分ほど歩いて湯島聖堂、徳川幕府の正式な学問所孔子廟等があります。昔は孔子

の聖像と願子・曾子・子思・孟子の四賢像等があったそうですが、度重なる火災などで焼失したそうです。次も歩いて五分、聖橋を渡り神田へ、周りをビルに囲まれたニコライ堂、日本ハリスト正教(ギリシヤ正教)です。この建物は日本に於ける西洋建物の草分け、イギリスのコンドル作だそうです。残念ながら日曜のミサのため礼拝堂の中は見学できず、周りからの(庭)見学でした。ラストは歩いて二分ビルの地下です。山ノ神を中心にして後藤顧問、熊谷会長のお神酒振舞の挨拶でお祭りの始まりです。

参加者は女性六名男性十名、年齢四十〜八十才でした。全員元気で無事完拝。

企画担当 河嶋 稔



「岩手県人の集い」に参加して

「ヤー元氣そうで何より…」一年ぶりの再会に喜び合う姿にこちらの心も和む。

木々も日々緑を増すこの季節、五月二十八日「第三十二回県人の集い」が京王プラザで開かれた。六百有余の面々、会旗・国旗・県旗が掲げられ、高橋佳代子アナの司会で幕が開いた。物故会員に祈る黙禱に静まる満場。連合会歌斉唱に続き会長代行による挨拶、会務報告は前年一般会計、総会収支決算、十八年度予算等の報告を承認。ふる里を愛する心を失わず会員一丸となって県勢発展に総力を結集しようとして「総会議」を採択。来賓紹介・県知事祝辞等と続き総会は終了した。

「懇親会」は引き続き行われ、心はしばしば郷愁へととぎやう。アトラクションのひとつは日大チアガール二十数名による躍動的な演技が舞台狭しと繰り広げられ喝采を博した。二つ目は中田佳代子さんによる本場仕込みのフラメンコ、普段あまり見る事のない情熱的な迫力ある演技で会場を魅了した。

会員相互の親睦も深まる中、最後は舞台狭しとあふれる有志と全会員による連合会歌、北上夜曲・北国の春・故郷を大きな声で歌い上げ、郷愁の余韻を会場に残したまま再開を約して盛会裏に幕を閉じた「また逢おう来年も……」

財務担当 高橋 徹

中田佳代子さんによるフラメンコ



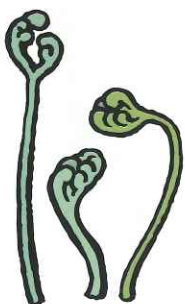
全員で「ふるさと」を合唱



北千住でおいしい花巻

五月十三〜十四日、足立区千住の宿場町通りで、花巻市の物産展が開催されました。千住は江戸時代の宿場町で、今もその面影が濃く残っている所です。またこの五〜六年、北千住駅と駅前が近代的に大きく変貌し、大変賑やかになりました。物産展の会場はその北千住駅から徒歩三分、宿場町通りの店舗です。JA花巻を中心に石鳥谷・大迫・東和の特産品の販売です。特に今回注目は山菜です。在京花巻県人会の役員さん、東和町の担当の方が競うようにして大売り出しの「たらのめ、しゅどけ、みず、ふき」など等全て売り切れました。他にお米、豆大福、南部煎餅、みそ、三陸の海草類、大迫のワイン、そして石鳥谷のお酒が販売されました。又、花巻の藪屋さんの「わんこそば大会」、宮野目の方々による「しし踊り」が二日間共開催され、大盛況でした。ほんの少しでしたが、石鳥谷町人会もお手伝いさせて頂きました。

足立区在住 河嶋 稔



花巻 人会総会に出席して

「在京はなまき人の集い」へ行ってきました。会場が今年には神谷町の東京農林年金会館の虎ノ門パストラルに替わり少し不便になった感があります。在京石鳥谷町人会からは、熊谷会長以下八名が参加しました。

参加者は大石市長を始め久保田市議会議長、高橋・佐々木両副市長他花巻市関係者約二十数名、近隣ふるさと会から三十数名と会員が約百三十数名とで全参加者は二百名位でしょうか。石鳥谷総合支所長の藤原善憲さんも同じテーブルでした。

入り口でウエルカムドリンクを頂き入場の後、花巻市伊藤観光課長と二人のイーハトーブレディより花巻の夏のイベント紹介があり、総会は文化放送の現役アナウンサー伊藤佳子さんの司会で始まり、瀬川花巻人会会長の挨拶、総会議事終了後、大石市長の祝辞、平塚七夕祭出品の表彰と続き、懇親会は久保田議長の乾杯の音頭で賑やかに始まりました。

アトラクションでは、高橋利光氏・利季さん親子の鹿踊りと杉村俊博氏のジャズピアノ演奏、テーブルの上には七福神と南部関の日本酒と大迫の赤ワインと木瓜の鬼芥子漬とキリセンシヨがのつており他にピュッフェ式の料理もあり食べずに、顔見知りの人が大勢いたもので、あっとい間に時間が経ち、宮沢賢治の作詞による花巻農校の精神歌の大合唱でお開きとなりました。

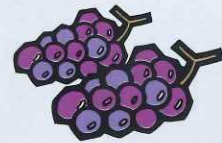


総務担当 大竹 雅夫



在京石鳥谷町人会役員名簿

会長	熊谷 福二	副会長	◎相模原	藤原 龍考
副会長	◎総務	大竹 雅夫	副会長	菅原 光雄
"	"	吉田 久美子	"	坂井 凱子
"	"	荒瀬 富姫子	"	菅原 明
"	"	平澤 勝男	副会長	◎財務
"	"	藤原 富蔵	"	熊谷 吉三
副会長	◎企画	河嶋 稔	"	山口 建徹
"	"	佐藤 辰夫	"	山口 郁子
"	"	小原 康治	監事	菊地 善男
"	"	高橋 弘美	"	柳原 政義
副会長	◎広報	飯塚 悦子	顧問	後藤 榮
副会長	"	志村 文子	"	河嶋 幸夫
"	"	佐々木 ミツ子	"	藤原 恣
"	"	後藤 勝夫		
"	"	小倉 礼子		
"	"	草間 マサ子		
"	"	櫻井 サト		



完熟りんご オーナー募集



◎1本(りんごの木サンふじ)⇒1万円
10kg 2~3箱の収穫量
[お問い合わせは下記へ]
伊藤果実園 代表 伊藤俊美
〒028-3141
花巻市石鳥谷町五大堂12-49
☎・fax 0198-47-2150

お願いとお知らせ

今年から町から独立して会を運営していくことになりました。
つきましては郵送代、会報の発行等、従来の会費では賅いきれません。総会で可決の通り、今年から**2,000円**の年会費をお願いいたします。

年間の主な行事予定

- ☆ 総会・親睦交流会
- ☆ 相模原市民桜まつり
- ☆ 東京下町散策
- ☆ 石鳥谷夢まつり
- ☆ 県人の集い
- ☆ 石鳥谷観光物産展 (阿佐ヶ谷商店街)
- ☆ その他

編集後記

会報誌の創刊にあたり、広報部員六名(七月に一名入部)は、何も無いところからの手さぐり状態から始まりました。

会長はじめ役員のアドバイスと協力を仰ぎながら発刊にこぎつける事ができました。

又、石鳥谷総合支所の八重樫和彦氏には、大石花巻市長、高橋副市長の挨拶文と写真の提供にご尽力頂いた事に感謝申し上げます。

会報に載せる記事、又ご意見を募集しております。ご応募お待ちしております。

これからも、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(飯塚)



広報メンバー